

科目名	保健医学英語 I	担当教員	大池 京子 大田原 裕紀 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	-------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	教養科目	必修	2年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23A	①、③					

科目概要	<p>理学療法士・作業療法士として臨床現場で働く際に、根拠のある選択をし、より良いケアを提供するために、英語医療論文を読む力は必要不可欠です。本講座では、1年次の基礎英語で培った英語力の土台をさらに確かなものにし、皆さんが将来現場で専門性を開発し、より良いセラピストとして成長し続けられるよう、英語力のさらなる伸長を目指します。人体の構造についての学習、リハビリを必要とする疾患の学習へと進め、後半はいよいよ自分達で選んだトピックについてリサーチし、発表をしていきます。さらに、英論文の概要をまとめたアブストラクトの構成を学んだ後、実際の英論文のアブストラクトの読解に取り組むという学習体験もしていきます。</p>
学習目標	<p>リハビリテーションに関する英語の基礎語いと表現を主体的に学ぶ方法に習熟させ、英語の文献を読む際に活用するための土台を築く。そして、医療英語独特の文章表現に慣れさせる。</p> <p>具体的には、人体の構造（筋肉系・神経系）や、疾患とリハビリテーションについて、専門分野の基礎語いをさらに拡充し、将来、臨床の現場で、根拠に基づいたケアを行い、専門性を磨き続け、信頼されるPT・OTになるための一つの要素として、英語研究論文の抄録（アブストラクト）を的確に捉えるための土台となる力を養うことを目指す。以下の点を特に重視し、目標とする。</p> <p>① 人体の構造や、リハビリテーションを必要とする代表的な症例についての英語の説明文を的確に読み取ることができる。</p> <p>② 医療研究論文のAbstractを的確に読み取ることができる。</p> <p>③ 課題や目標達成に向け、自律と協同の学習を遂行できる。</p>

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	オリエンテーション Ch. III-2	講義の目的、見通し、ルールと成績評価方法、目標、Google Classroom、The Muscular System unit 導入	講義の見通しを持つことができる 筋肉系の学習に意欲を持って取り組む	
2	Ch. III-2: 筋肉系	The Muscular System: Video with worksheet, Info gap activity, Reading strategies Review	協力してタスクをし、説明文を完成する 有用な読解ストラテジーを活用して、筋肉系の要点を捉えることができる	
3	Ch. III-3: 神経系	The Nervous system (NS): Demonstration of reading strategies, Video with worksheet	読解ストラテジーを活用できる 神経系の構成シートを完成できる	
4	Ch. III-3: 神経系	The Nervous system: Essay reading (Rd) with worksheet, Video, Group work	読解スキルを活用して、説明文の重要点を読み取ることができる 協同タスクにより、内容理解を深めることができる	
5	Mini Review Quiz	Review of key points so far & Adjustment period	これまで学んだ単元の重要ポイントを整理することができる	
6	Ch. IV: 疾患とリハビリテーション: 骨折	Bone Fractures: Essay reading with worksheet, Video	自律して説明文の要点を読み取ることができる 重要点(種類, 原因, 症状, 治療等)を捉えることができる	
7	Project prep.	Choose 1 medical condition in need of rehabilitation, Research, Make PPT slides and manuscripts	プロジェクトについて見通しが持てる これまで学んだ読解スキルを活用し、専門的な説明文の要点を読み取ることができる チームワークでプロジェクトの準備ができる	
8	Project prep.	Work on the topic of choice, and prepare for a presentation session	自律と協同で、選んだトピックのリサーチと発表準備を進めることができる	
9	Project プレゼンテーション	Team Project Presentation with PPT, Q&A	リハビリを必要とする疾患について、リサーチした要点を協力して発表ができる 他のチームの発表から学び、理解を深めることができる	

10	Ch. IV: 関節炎: OA	Osteoarthritis: Essay reading with worksheet, Video	OAについて要点を多角的に捉えることができる 重要点(メカニズム, 原因, 症状, 治療等)を捉えることができる
11	関節炎: RA	Rheumatoid Arthritis: Essay reading with worksheet, Video	RAについて要点を多角的に捉えることができる 重要点(メカニズム, 原因, 症状, 治療等)を捉えることができる
12	脳卒中 (background info)	Stroke: Background info.: Essay reading with worksheet, Video	Strokeについて要点を多角的に捉えることができる 重要点(メカニズム, 原因, 症状, 治療等)を捉えることができる
13	アブストラクト	Introduction to Abstract Rd: Abstract format, Steps to take, Vocabulary	Abstractの構成を捉えることができる Previewing 等, 既習の読解スキルを活用できる
14	アブストラクト	Abstract reading task (cont'd), Q&A	練習を通じて、Abstractの内容を的確に理解するための手順と、注目すべき箇所を捉えることができる
15	講義のまとめ	Wrap up of the class, Q&A, Questionnaire	ノート・ポートフォリオを通して、取り組みや自己の成長を振り返ることができる
評価方法		授業への積極的参与取り組み(25%)、ミニ復習テストと期末試験(50%)、プロジェクト(課題や提出物を含む)(15%)、 B5 ノート(ポートフォリオ)(10%)	
課題に対するフィードバック		1 2～3トピック終了後に「ミニ復習テスト」を行う。次回講義で解説する(フィードバック)。 2 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 3 適宜 Google classroom も活用する。	
教科図書		清水雅子、他著『リハビリテーションの基礎英語 第3版』メジカルビュー社(基礎英語から継続使用) 配布資料	
参考図書		適宜、授業内で連絡します。	
学習の準備		毎回の授業に対して、予習・復習のリズムを維持すること 1 事前に教科書・資料の該当箇所を目を通す。(90分) 2 事後に授業内に配布した資料を見直し、ノートを整理し、講義のポイントを復習すること。(90分)	
オフィスアワー		月曜日 14時～15時半 或いは、授業前後やアポイントメントを取ってどうぞ。	
担当教員欄に※印を付した教員の 実務経 験			